

日本語で歌う「第九」 2009 歓喜の歌



2009年12月20日(日)
鎌倉芸術館 大ホール
午後3時開演(午後2時30分開場)

主催：鎌倉市芸術館指定管理者 サントリーパブリシティサービスグループ

L.v. ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

歌劇「フィデリオ」序曲

"Fidelio" Overture

交響曲第9番 二短調 Op.125 「合唱付」

(なかにし礼 日本語詩版)

Symphony No.9 in d minor, op.125 "Choral"

I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso

II. Molto vivace

III. Adagio molto e cantabile

IV. Presto

※本日の公演には休憩がございません。あらかじめご了承ください。

鎌倉芸術館開館以来、姉妹都市交流の一環として山口県萩市より、また、日本語の第九公演を約 21 年にわたり開催している三重県東員町からも、この『日本語で歌う「第九」2009 歓喜の歌』公演に合唱団の一員としてご参加いただいております。

歓喜に寄す

原詩：フリードリッヒ・フォン・シラー

日本語詩：なかにし礼

わが友よ 歌うなら
もっと 快い歌を歌おう
歓びにみちた 歌を

愛 愛
愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂き踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

気高き乙女を勝ち得たものよ
手をとって歓喜の叫びをあげよ
人間一人でも何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ

生あるものみな分けへだてなく
自然の乳房に抱かれて生きる
幼き子供も罪ある人も
集い歌わん 歓喜の歌を
歓喜の歌を 歌を
歌 歌

行け 行け
胸をはずませ 雄々しく
空ゆく太陽の
歩みのように

いざ進め友よ
いざ進め友よ
勝利におもむく
勇士のように
進め 進め
勇士のように

くちづけ
接吻交わさん
世界の同志よ
父は住み給う
星空かなたに
父は住み給う
星空かなたに

地にふし あがめん
父なる神
あゝ星空かなた
神は天にあり
神は天にあり

愛こそ歓喜にみちびく光
母なる歓喜
歓喜は世界の母なり



家田 厚志 (指揮)

1955年2月神戸生まれ。大阪、追手門学院大学心理学科(音響心理学専攻)卒業という異色の経歴を持つ。音響心理学を加藤徹、打楽器を百瀬和紀、指揮を山岡重信、各氏に師事。その後渡欧。1980年より、二期会、ステファノ・オペラ劇場などの指揮者として活動を開始。1988年4月劇団四季において大きな話題を呼んだミュージカル「オペラ座の怪人」の日本初演を指揮、劇的な成功を収める。以来、新星日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック、群馬交響楽団、ニューフィルハーモニー千葉、九州交響楽団、N響団友オーケストラ等を指揮して個人的な名演を数多く生み、常に話題を呼んできた。海外においても台湾の台北首都歌劇団、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団を指揮。また中国における戦後初の外国人常任指揮者として1994年から1996年まで上海放送交響楽団常任指揮者、引き続き2004年まで同団指揮者を務め、同団の実力・地位を飛躍的に向上させた。2000年から2007年まで東邦音楽大学特任教授。さらにラジオ大阪「家田厚志のタクトでバトル!」DJ、フジテレビ「トリビアの泉」、TVコマーシャル「セガミ薬局の霊芝エスモン」等でも活躍。大胆かつ繊細な音楽性と、クラシック音楽のイメージを覆す強烈に明るいキャラクターで人気を集めている。現在、フィルハーモニア東京指揮者。



亀田 眞由美 (ソプラノ)

東京藝術大学別科修了後、洗足学園音楽大学卒業。オペラ「魔笛」の夜の女王でデビュー、以来二期会、日生劇場公演をはじめ多くの公演に出演している。他のオペラでは、「後宮からの逃走」のコンスタンツェ、「ポントの王ミトリターテ」のアスパージャ、「劇場支配人」のヘルツ夫人、「シンデレラ」(マスネ)の妖精の女王、「オルフェオとアウリディーチェ」のエウリディーチェ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「金閣寺」(日本初演)の母親等を歌っている。1988年より、ローマ・モスクワ・ブエノスアイレス・ケルン・ベオグラード・ロンドン・ウルグアイ・サンパウロ・ウィーン等でリサイタルやコンサートに出演し、日本歌曲の紹介にも取り組んだ。特にサンパウロでの2回のリサイタルは大好評であった。また、「第九」や「メサイア」「レクイエム」等宗教曲のソリストの他、ヴィラ＝ロボス「ブラジル風パッサム」等オーケストラとも共演している。新作を手がけたものをはじめ、リサイタルも数多く重ねると共に、日本歌曲の分野にも意欲的に取り組むなど、幅広い演奏活動を続けている。洗足学園音楽大学講師、二期会会員。鎌倉音楽クラブ会員。



稲本 まき子 (アルト)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。戸田敏子、田中伸枝、児島百代の各氏に師事。NHK 洋楽オーディションに合格し、ブラームスの歌曲で出演する。コンサートでは、バッハ「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ベルゴレージ「スタバド・マーテル」、ヴィヴァルディ「グローリア」等

の宗教曲や、「第九」のアルトとして活躍している。オペラは「リゴレット」のジョヴァンナでデビュー。「フィガロの結婚」のマルチェリーナ、「魔笛」の侍女、「コシ・ファン・トゥッテ」のドラヴェラ、「アルバート・ヘリング」の母親などを演じている。昭和音楽短期大学、北鎌倉女子学園、アプリカルチャーセンター講師、横浜シティオペラ、鎌倉音楽クラブ会員。



鎌倉交響楽団

鎌倉市民によるアマチュア管弦楽団として昭和38年に発足、現在団員120名を超える。春と秋の定期演奏会、3月のファミリーコンサート、鎌倉市の幼稚園協会による園児のための演奏会の他、年2回の室内楽演奏会などを継続して行っている。平成19年11月には創立45周年を記念して戸塚混声合唱団他の協力を得てオルフの大曲「カルミナ・ブラーナ」を演奏。平成11年、18年には、鎌倉と姉妹都市秋の両市で第九演奏会を出演しているほか、平成21年12月12日には萩市民館にて開催された、鎌倉市・萩市姉妹都市提携30周年を記念第九演奏会に出演するなど、鎌倉市内だけにとどまらない幅広い活動を行っている。団員の年齢層が学生から高齢者まで幅広く、職業も東京・横浜への通勤者、主婦、医師、教員と多彩であることが特徴であるが、近年はクラシックの古典に加え近現代の基本的な作品にも計画的に挑戦するとともに、地元に着目した活動により力を入れるなど、音楽文化のリード役としての活動を志している。



小林 彰英 (テノール)

東京藝術大学音楽科卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第6期生修了。森田彦、三浦輝夫、故・足田生次郎、故・山路芳久、カルロ・メリチャーニ二諸氏に師事。第16回イタリア音楽コンクール・テノール特賞受賞。文化庁芸術家在外研修員としてイタリアに留学。在伊中、第8回エルコーノ国際音楽コンクールで第2位入賞。オペラでは、二期会「メリー・ウィドウ」のカミーユ、「チェネレントラ」のドン・ラミーロ、「こうもり」のアルフレード、東急Bunkamura「魔笛」のタミーノほか、「ナクソスのアリアドネ」のプリゲッラ、「ペアトリスとベネディクト」のベネディクト、「オリイ伯爵」のオリイ、「セビリアの理髪師」のアルマヴィーヴァ等を歌っている。またコンサートでは、N響定期でラヴェル「子供と呪文」、都響定期でハイドン「四季」、東響400回記念演奏会でシェーンベルグ「モーゼとアロン」、日フィルでプリテン「セレナード」に出演。その他、「メサイア」、「第九」等の演奏会で多くの主要オーケストラにソリストとして出演。2005年3月韓国・高陽市星沙劇場、8月イタリア・スポレート市カイオ・メリッソ劇場にて「曾根崎心中」徳兵衛で出演。現在、東京音楽大学で講師を務める。東京室内歌劇場会員。二期会会員。



太田 直樹 (バリトン)

東京藝術大学音楽科卒業。同大学院修了。86～89年シュトゥットガルト音楽大学に留学。リュート科、オペラ科を修了。帰国後オペラ研修所第8期を修了。音楽を伊藤巨行、ギンター・ライヒの各氏に師事するほか、90年～04年草津およびドイツにおいてエルンスト・ヘブリガー氏のマスタークラスに参加。92年、研修所修了公演「チェネレントラ」を皮切りに、

二期会公演「フィデリオ」「学生王子」「ホフマン物語」「ニルンベルクのマイスター・ジンガー」、東京室内歌劇場公演「アルジェのイタリア女」「ヴェニスに死す」「青空を討つ男」「リウ・トゥンの夢」(東京・ソウル)、長野五輪記念オペラ「善光寺物語」、二期会・新国立劇場共催「罪と罰」、新国立劇場小劇場「オペラの稽古」「ドン・ジョヴァンニ」、東京オペラ・プロデュース「恋するサー・ジョン」「魔笛」「当惑した家庭教師」「カブリッチョ」などのオペラに出演。ドイツ歌曲を中心としたリサイタルや演奏会も多く、最近では「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」全曲演奏会、ヴォルフ「イタリア歌曲集」、浜離宮朝日ホール・ヴォルフ歌曲全曲演奏会シリーズ、草津国際夏期音楽祭などに出演。バッハ「ヨハネ受難曲」をはじめとするオラトリオ、「第九」やモーツァルトの教会音楽、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、フォーレ「レクイエム」などの独唱を多く務めている。桐朋学園芸術短期大学講師、東京都立芸術高校講師、二期会会員、東京室内歌劇場会員、東京オペラ・プロデュース・メンバー。2006年12月スロヴァチエフスキ指揮ザールブリュッケン放送交響楽団「第九」公演に出演。



日本語で歌う「第九」2009 合唱団

総勢215名が参加。9月23日より20回の練習を重ねる。姉妹都市・山口県萩市の合唱団より12名、長年日本語の第九公演を続ける三重県東員町の合唱団より10名の賛助出演をいただき、練習の成果を本日披露する。

合唱指揮： 富澤 裕、辻端 幹彦
ピアノ伴奏： 星野 山実、上方 協子、黒岩 祐子
飛来 美保子、江原 郊子

ソプラノ

○安部 昌子
飯島 米子
井草 娃子
岩波 一美
○上田 昌子
内田 美枝
江守 芳子
大橋 恵子
尾崎 聿子
葛西千鶴子
河崎 和子
川村 孝子
北岡 久子
木村 文子
○久保田澄江
倉富けい子
栗原 深雪
桑原 英子
桑原 道江
小山 良英
佐藤 順子
佐藤 文子
佐野 正江
○白上和加子
○杉 ひろ子
○杉 奈穂
鈴木 祐子
鈴木 陽子
諏訪 愛子
高瀬 節子
武田 徳子
多田 久恵
田中 洋子
田辺 睦子
田辺 佳子
手塚 延枝
寺沢 桜

内藤小百合
永井 正子
永井 佳子
○長田 裕子
中村 幸子
西田紀代美
野口 都子
羽田かほる
藤野まゆみ
保月美保子
本田 克子
前蘭久美子
増田 知子
小倉 里奈
真室 泰子
●水谷 愛子
水野 和子
光井 節子
●三輪 翠子
百瀬 光子
柳沼 英子
●山崎 和子

アルト

池田多嘉子
石井悠梨子
伊勢 永子
植本 美春
内田まゆみ
太田紀久子
大竹由美子
大本 博子
○岡 恭子
岡田亜矢子
興津久美子
香椎 裕美
柏村恵美子

加藤 昭子
加藤 紀子
金子美智子
川上 和子
河村 信子
菊池 桂子
菊地 弘子
木谷 祥子
木谷 典子
黒子 昭子
後藤 玲子
●小林 孝子
小林 まき子
小林 陽子
五味 くにか
○佐伯 貴恵
○坂井倭文子
澤田ワカ子
篠 明日香
芝崎 佳子
島崎美音子
清水 和子
清水 洋子
白石 政子
杉澤 素子
鈴木 彩子
田上 和代
田中 信子
田原 朝子
垂木 裕子
筒井 純子
角井 幸子
戸川喜久乃
殿谷智恵子
中川 啓子
中島 照代
中島 眞理
中西佐知子

中村 郁子
中山 文子
丹羽 美波
野上文美恵
野島 明子
野島 雍子
八谷 綾子
濱 利子
○原田梨恵子
●半田 和子
福田 和子
布施 和美
古川 道子
古田 智子
古田 朋子
星野眞樹子
細野 和子
舛谷理佳子
松村 明子
松田 雪
●水野 洋子
三富 京子
宗村八重子
矢崎 久美
山下 博子
結繩 房子
遊木登志子
横山佐千子
米村 恵子
渡辺 富子
渡辺 優子

テノール

●池田 泰朗
石倉 啓三
伊藤 重男
岩瀬 功

内海 清
鵜沼 充
大坂 樹
尾関 昌男
勝田 忠男
久坂 隆
齊藤 信二
○坂本 修三
佐野信一郎
島田貫一郎
清水 正貴
清水 雄二
高橋 正夫
高橋 正三男
●多儀 正一
竹田 俊幸
筒井 完治
手塚 康雄
土居 勲
中山 和夫
西川 茂男
橋本 正道
林 達二
藤原 淳
舟橋 充郎
益子 智夫
山田 義雄
幸 俊二
吉川 廣
米山 朝彦

バス

天田 雅宏
猪狩 満敏
妹川 稔
鶴飼 文雄
大沢 智光

木下 宜武
小池 秀次
佐藤 恒二
佐藤 洋
清水 圭三
代田 喬郎
進藤舜一郎
妹尾 英明
高橋 範雄
田上 豊
竹信 稀夫
千葉 俊宏
塚口 純正
●辻 眞利
渡 眞利
長井 弘
長田 克己
中田 了介
中村 勲
鳴嶋 道恭
根岸 廣和
早川日出夫
林 功司
福村 尚
藤井 則和
藤井 正綱
古田松二郎
細井 啓吉
松本 達也
眞那子 金三
御園生 勲
宮岡 栄一
山本 茂樹
鷺田 敦

○：鎌倉芸術館開館以来、萩市・鎌倉市の姉妹都市交流として、毎年第九の合唱に参加いただいている萩市のみなさんです。
●：日本語の第九公演を21年にわたり開催している三重県東員町のみなさんです。

鎌倉交響楽団

1st Violins

石川 雄太
岩谷かおり
梅原 哲郎
栢原 穂貴
川西 清美
桐本 圭三
五味 俊哉
白水 千晶
鈴木 涉子
鈴木 政彦
曾根 民子
武政 宏晃
多田 廣之
馬場 潔子
本山まり子

2nd Violins

青木 淑子
新井 俊成
石川 静
石橋 智子
河原 寛
河原勢津子
五味 晶子
佐藤 理洋
菅井 直介
富岡 陽子
中橋美木子
福山 彩子
望月由佳子
八木 育江

Violas

阿部 明美
石川 まり
梶 成彦
梶原 庸子
佐々木敬史
高橋 良子
中川 孝之
中村 文江
正木 基身
三門サカエ
水上 清

Cellos

飯田 達男
梶 淳子
佐藤 洋子
重兼 寿夫
志村 篤子
鈴木 達広
中井 良樹
中川 優子
中野太一朗
二川 有子
毛利 史子

Double Basses

大内 達郎
佐藤 正
中村 安孝
原 宏造
福島 晋哉
丸 陽子
矢野 健
渡辺 均
Flutes & Piccolo
菊竹 秀夫
曾根 美樹
高橋 弘子
高畑 裕恵

Oboes

桑野 若菜
中橋 英純
山崎 一哉
山本 賢二

Clarinets

内田 千枝子
片山 眞知子
鈴木 美緒
前沢 実
山崎 潤

Bassoons

富井 一夫
三原 一真
矢吹 紀子

Horns

芥川 敬
白井 賢司
宮崎 敏幸
山田 克彦

Trumpets

後藤 三穂子
竹内 純子
浜野 耕平

Trombones

桜井 貴志
瀬島 一海
府川 創作

Percussions

今城 信彦
太田 純
高橋 正彦
養田 俊之